

平成29年度第1回八幡地域協議会会議録（HP版）

日 時 平成29年4月26日（水）午後1時30分～午後2時58分

場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室

出席者（13名）

- 1号委員 佐藤政義 相蘇照子 池田満好 本多秀之 後藤正一
遠田秀明 石川正志 小松久美子 佐藤康晴
- 2号委員 阿部喜至夫 小松幸雄 高橋知美
- 3号委員 池田 香
- 欠席委員 丸藤祐一

八幡総合支所：支所長（兼）地域振興課長 後藤啓、建設産業課長 伊藤将人
建設産業課長補佐 村上秀俊、建設産業課長補佐 土田正人
地域振興課長補佐 小松原毅、地域振興課主査 鳴瀬勉

傍聴者： なし

議事日程

～平成28年度地域協議会市長報告会について、他～

- 1 開会
- 2 委員の自己紹介
- 3 地域協議会の設置趣旨等について
- 4 市長（代理：副市長）あいさつ
- 5 会長及び副会長の互選
- 6 会長及び副会長のあいさつ
- 7 会議録署名委員の指名
- 8 報告
- 9 協議
- 10 その他
- 11 閉会

【協議の概略及びその結果】

本協議会は委員改選後の第1回会議であり、副市長から委員への委嘱状の交付があった。その後、会長及び副会長を決定し、3月に行われた地域協議会の市長への報告会の内容等で意見交換が行われた。また、委員より、今後の協議会の協議内容について、市からの一方的

な案件の意見交換だけでなく、地域の実情に詳しい各委員から事前に取り上げてもらいたい案件等があれば、協議の場に出してもらえればとの要望があった。

1 開会

○事務局 皆様、本日はお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。本来であれば、最初に本年度から2年の任期で委員になられる皆様に委嘱状の交付をするところですが、本日、市長代理の副市長が、午後2時頃、到着の予定になっています。副市長が来ましたら、すぐに委嘱状の交付を行いたいと思います。その際、お名前を申し上げますので、お手数ですが、その場にご起立願います。

2 委員の自己紹介

～委員及び職員が自己紹介～

3 地域協議会の設置趣旨等について

○後藤支所長 それでは、新しく委員になられた方もいらっしゃることから、地域協議会の設置趣旨等を簡単に説明します。

地域協議会は、設置条例にありますように、地方自治法第202条の4から202条の8まで、市町村の合併の特例に関する法律第5条の4の趣旨にのっとり合併前の三町の区域ごとに設置しています。

八幡地域協議会も平成17年12月に設置され、1期2年で皆様は第7期目の委員です。各地域とも、委員は15人以内で、本地域は、公共的団体から推薦のあった方10名、識見を有する方3名、公募委員1名を選んでいます。

協議会の目的としては、地域住民の意見を行政に反映させる等、地域課題の解決や地域活性化のための意見交換の場となっています。

会議の内容につきましては、後日、「地域協議会だより」として、全戸配布で地域の皆さんにお知らせする形になっています。以上です。

○事務局 酒田市地域協議会設置条例施行規則」ということで、「第4条の2、会議の招集は、委員に対し、開会日の5日前までに議題を付した文書で行うものとする。ただし、急を要するときは、この限りでない。」と、ありますが、基本的に会議の日の10日くらい前までには、皆様に文書で協議会の開催日を通知します。

会議のメインとなる資料も事前に4～5日前までには送付しますので、あらかじめ目を通していただければと思います。

また、第5条の会議録の調製ということで、協議会が終わった後に、こちらで、会議録を作成し、市役所のホームページに掲載する形にしています。

地域協議会の最大の目的は「地域住民の意見を行政に反映させる」ことにあります。普段、感じていることや、地域の人達との会話の中で、行政に対して申し上げたいことがありましたら遠慮なく発言していただければと思います。中には、この場で、回答できないこともあります。本庁の担当課に問い合わせ等をして、後日、回答させていただく形とします。

○**池田満好委員** この会議の持ち方・協議内容について、市からの一方的な案件だけでなく委員から普段考えている地域課題等を案件として出してもらい意見交換したらどうか。

○**事務局** 次回の会議の前に会長等と検討します。

◇本日の資料の説明

○**後藤支所長**

～資料1・2「平成28年度地域協議会市長報告会について」を基に説明～

○**事務局**

～資料3「平成29年度八幡地域協議会年間予定（案）」について説明～

○**事務局** ただ今の説明で委員の皆さんから何かお聞きしたいことがあればお願いします。

○**阿部喜至夫委員** 市長が「トイレは[たわわ]のそばが良いのですか」と語っており、最初から門前払いでなく安心している。一方、荒生会長が「例えば、本楯の城輪あたりでも良い」と言われているが、観光客の利便性からすると、あくまでも「たわわ」の近くが良い。「たわわ」のトイレは車イスだと使いづらいのもあるし、駐車場にトイレが出来れば「道の駅」的な便利なものになる。「たわわ」の組合としては、トイレ建設への金銭的な負担は厳しいが、施設の管理面での負担は多くなるだろうと想定はしている。従来協議会の中で話し合ってきた「たわわ」の敷地内での設置を要望する。

○**後藤支所長** その話は重々承知している。今後、酒田港でのクルーズ船の受入れのオプションツアー等で、八幡地域の受入れ体制を整えるためにもトイレの充実は大切と思うので、これからも引き続きこの要望は出して行きたい。

○**小松久美子委員** 市長へトイレの話をする前に「他の観光施設と比較して、城輪の柵には何もないね」という話になり、「トイレは城輪でも」といった話が出たと記憶している。

～委嘱状の交付～

○**事務局** それでは、副市長が来ましたので、本年度から2年の任期で委員になりました皆様に、副市長より委嘱状の交付がございます。お名前を申し上げますので、お手数ですが、ご起立をお願いします。

～矢口副市長より八幡地域協議会第7期の委員の方々へ委嘱状の交付～

4 副市長あいさつ

○**矢口副市長** 皆様、初めてお目にかかった方もいらっしゃるかも知れませんが、改めてこんにちは。本来、市長が来るべきですが、都合がつかなくて申し訳ありません。私も地域協議会に初めて来ることが出来てありがたく思っています。地域協議会は八幡地域の声を酒田市の行政に反映させることにあります。地域のコミュニティ振興会や自治会等の集会にも私も出かけていますが、何と云ってもこの地域協議会は正式な場であり、是非、地域の声を出していただきたいと思います。八幡地域全体そして酒田市全体のことも考えていただいて御意見を頂戴出来ればありがたいと思います。地域の活性化ということで私も力を入れて行きたいと思いますので、お力添えの程をよろしくお願いします。

○**事務局** なお、大変失礼ではありますが、副市長は次に平田地域協議会に行く関係上、ここで中座いたします。

5 会長及び副会長の互選

○**事務局** それでは、次に、次第4の本協議会の会長及び副会長の選出を行いたいと思います。酒田市地域協議会の規定により、会長・副会長は委員の互選により定めることとなっております。・・・が、事務局一任ということでもよろしいでしょうか。

～賛成の拍手あり～

○事務局 それでは「事務局に一任」ということですので、会長は池田満好委員、副会長は高橋知美委員にお願いしたいと存じますが、皆様いかがでしょうか。

～賛成の拍手あり～

○事務局 賛成の拍手がありましたので、会長は池田委員、副会長は高橋委員にお願いしたいと思います。では、会長と副会長は、それぞれの席に移動願います。

これからの会議につきましては、設置条例により、会長に就任された池田委員が議長となり、進めていただきます。では、正副会長からの挨拶も含め、会議の進行をよろしくお願ひします。

6 会長及び副会長のあいさつ

○池田満好会長 山根自治会長をやっている池田満好と申します。この協議会に参加させていただき2期目を迎えました。このたび、私に今年の6月に行われる予定の古希を祝う会の案内状が届いています。「自分にとっての古希は60歳なのかな」と思っていますが、この協議会の会長職は、肉体的な労働は伴わないため、お引き受けしました。酒田市との合併から12年目の春を迎えましたが、各地域では様々な諸問題を抱えていると聞いています。「この地域に生まれて良かったな」、「この地域に住んで幸せだな」と地域の皆さんにとって安全・安心な生活に少しでも貢献できればと考えています。それには、行政の御指導や委員の皆様のお力をお借りしながら、酒田市の市勢に沿った明るく楽しい地域づくりに私も寄与して行きたいと考えていますので、皆様方のご協力よろしくお願ひいたします。

○高橋知美副会長 荒町に住んでいる高橋知美と申します。この地域協議会が出来て以来、最初から参加させてもらっています。自分は自然に関することを色々やっており、現在は「イヌワシの森倶楽部」という自然体験活動支援団体の活動や、この協議会への私の推薦団体である「鳥海やわたインタープリター協会」にも所属しております。また、小学校の自然体験教室のお手伝いもさせていただいており、子育て世代ということもあり、子ども達のことや豊かな自然のこと、この地域のすばらしいところを皆様と一緒に考えてゆき、また、地域がより良い生活ができるように考えて行ければと思っています。言葉が足りなくて皆様の誤解を招くことがあるかも知れませんが、その点をご指導の程よろしくお願ひ

します。

7 会議録署名委員の指名

○池田議長 それでは、会議に入る前に、会議録署名委員の選出を行います。会議録の署名は、設置条例施行規則において「会議において選任された委員1人が署名しなければならない」とあります。そこで提案ですが、委員名簿の順番で決めて行きたいと考えますが、いかがでしょうか。

～異議なしの声あり～

○池田議長 それでは、委員名簿1番の佐藤政義委員に今回は署名委員になっていただきますのでよろしくお願いします。

○佐藤政義委員 はい。

8 報告

○池田議長 それでは、最初に市長報告会の件で、事務局から説明願います。

○後藤支所長

～資料1・資料2の「平成28年度地域協議会市長報告会について」を基に説明～

- ・3月27日に三総合支所合同で市長報告会を実施

提言内容は

- ① 観光客のニーズに合った公衆トイレの設置を
 - ② 子育て支援の充実を
- ・①の「公衆トイレの設置について」は前々から「たわわ」より出ていたが、実際、要望しても中々、今まで実現出来なかった。
 - ・しかし、今後、クルーズ船での観光客の誘致やジオパーク事業のジオサイトでの様々なイベントへの誘客を考慮すると、トイレの充実は大切であり、引き続き根気良く要望していただければと思う。
 - ・②の「子育て支援の充実を」は、より良い地域の条件として、少子化対策の子育て支援は大切なものであり、提言した。遊佐町等の施設面の先進事例を参考にしながら、引き

続き当局に要望していただきたい。

○池田議長 先程、阿部委員から「トイレ」の関係で意見がありましたが、「子育て支援」を含めた2件について、皆さんご意見ご質問などございましたらお願いします。

○池田香委員 例えば、観光面で、5月に客船が来ること等、一般市民に知れ渡っていない面がある。折角、ジオパークに指定されても、山の近くでは盛り上がっていても、市街地ではあまり実感がなく、実際「ジオパークって何ですか」という人が多い。もっと広報紙等を利用して是非ことある毎にPRしていただきたい。あと、外国船が来ても船に持ち込み出来ない品物の規制が沢山あると聞くので、行政のほうから事前にそういった持ち込みおみやげ品等の情報を地域に流してもらいたい。それから、酒田への観光客誘致の関係で、ネットを活用した良いシステムがあるが、お年寄りにとってはパソコンが不得意な人もおり、もっと幅広く周知する方法を検討していただければと思う。

○池田議長 商工会の観光も絡む件ですが、事務局の考え方はいかがですか。

○伊藤建設産業課長 この間、八幡観光物産事業実行委員会の総会があり、ジオパークに関連する様々な事業の件等の話し合いがあった。豪華客船の件では、実際、どこの観光地を巡りたいのか希望はまだ届いていないが、おみやげ販売や観光名所、産直等と連携しながら、消費拡大や観光誘致を図っていくことを総会で決定した。

○池田議長 要するにPRをもっと広く大きく、皆がわかるようにやっていただきたいということだと思います。具体的に決まったら、コミ振・自治会等を通じてPRすることが大切だと思いますので対応よろしくをお願いします。

○後藤支所長 池田香委員の意見について、一つの情報で、5月3日の「にっぽん丸」の観光ツアーで玉簾の滝に来るということで、歓迎の表示を「産直ららら」に出すことになっている。どの位の人数かは把握していないが、今後もその様なケースがある場合、観光客に対応できるようにしていきたい。

○相蘇照子委員 玉簾の滝に行ってみたが、産直の売り物が少なくて残念な気がした。折角の自然がある訳なので、観光客を呼ぶには、地元の特産品を活かして、ちょっとした食堂でもあれば良いなど、もう少し何とかならないものかと考えさせられた。

○池田議長 あの産直の運営はどこですか。

○後藤支所長 升田地区の有志です。

- 高橋知美委員 今の話で、升田の地区だけで出来ないのであれば、「産直たわわ」とタイアップすることは出来ないのか。地元の産直どうしてパイプを作り連携すれば、観光客に対応出来るのではないのか。
- 阿部喜至夫委員 先ほど伊藤課長からお話しが出た観光物産事業実行委員会でも、升田自治会の代表の方からも「商品を[たわわ]から融通してもらえませんか」との話があったが、「たわわ」自体も、行ってもらえばわかるが、商品が足りず満足に供給が出来ない状態である。もし、仮に、運ぶようなことになった場合、誰が運ぶのか等といった具体的な話になると、色々ネックになるものがある。自分自身一番可能性があると思うのは、鳥海やわた観光株のヨーグルトやソフトクリームを1坪程度のスペースで販売するケースが考えられる。実際、そういった1坪のスペースで、ソフトクリームだけで2億円位の売り上げを出している「あ・ら・伊達な道の駅」が宮城県内にある。升田も、それなりの人が来れば、採算が取れるのではと思われる。可能性としては、そちらのほうが大きい。
- 池田議長 行政からも、関係機関に声をかけてタイアップしていただければと思います。
- 本多秀之委員 大型客船が酒田港に入港する際に、岸壁には市や県がリンクする形で観光協会等で県内の物産品が出展されると思うが、そのような計画の情報は入っているのか。
- 小松原毅地域振興課長補佐 鶴岡も含め、庄内全体に出店を呼びかけている。
- 本多秀之委員 観光事業は、県・市・地域が一緒になって連携して初めて成功するような形を作っていかなければいけない。地域だけにまかせた形ではなく、行政等が連携して入港した観光客を玉簾の滝へ案内するような形であれば、観光資源の提供も出来るし、ある程度の施設の整備も必要になる。観光ルートに入っているものは、その地域だけで対応出来ないものは当然あり、もっと大きな枠で動いていただきたい。初めて玉簾の滝に行った人が「田舎の山の中で、滝以外は何もなく、満足なトイレすら無かった。」といったマイナーイメージが拡散すると、観光ルートから外れてしまうことになりかねない。
- 後藤支所長 クルーズ船の入港に関しての対応は市の担当課で進めており、実際、八幡には物産の出展や観光等の情報は入っていない。
- 池田議長 大型客船が酒田港に来る際に、岸壁に屋台等の出展を検討しているという。
- 本多秀之委員 八幡を観光拠点にして行こうというのであれば、今後、そのような観光客を迎える市の事業等とリンクさせ、隙なく迎えることが大切である。最初の印象が大事であり「せっかく来たけど何もなかった」と思われるのが心配である。行政の担当部署が観

光のルート付けををすると思うが、今回、ルートに八幡が選ばれなかったということであれば、逆にこちらから中へ取り込んでもらうような働きかけが必要になろう。新聞記事によると、これまでも酒田に豪華客船が入ってきたが、酒田市内はあくまでも通過点でしかなく、鶴岡などの周辺部に観光客をすべて持って行かれて、酒田に落ちるお金はほとんど無いという。地元の人が行ってすら貧弱と感じる場所に、観光を楽しみに行った人達がどのような思いを抱くかとなる。

○池田香委員 先日、豪華客船が酒田の次に寄港する京都の舞鶴の観光誘致を担当している人のお話を聞く機会があったが、出席者からは「品物を販売したいがアクセスはどうするのか」等の質問が誰からも一切出なかった。それと、外国船の場合、法的な規制が多いという。升田の産直のケースは、せっきく観光客が来るのだから、品物を売る方に力を入れてもらいたい。どういった手続きをしたら、どこで何の品物を売ることが出来るのか等、窓口の明確化が必要であろう。

○池田議長 そういった食品衛生法等の規制が絡んだ様々なものがあると思う。それと、八幡に来る観光客の情報を早めに取り入れて行政で地域に連絡する等、対応出来る体制づくりを考えて行くことが大切である。少しでも「八幡に行って良かったね」と思われるように、行政からもお願いしたい。

○後藤支所長 観光面については、本庁の担当課と連携を取り、情報を早くもらうようにして、なおかつ、関係者にも情報提供していきたい。

○佐藤康晴委員 酒田市と合併して12年になるが、この間、トラクターを更新した際、「酒田市」の新しいナンバープレートが来ると思ったが、プレートが「八幡町」だった。いまだに何故「八幡町」なのかと思われる。折角、酒田市と合併した訳であり、新酒田市としての適切な取り組みをしていただきたい。

○後藤支所長 車両が変われば当然ナンバーも変わる訳であり、担当に確認したい。逆に、一方で「八幡町」のナンバーを要望する人もいる。

○佐藤康晴委員 行政としても「酒田市」を勧める形にしたほうが良いのではないか。

○後藤支所長 酒田市として統一感がないとのご指摘と思うので、担当に聞いて確認したい。

○池田議長 ナンバープレートは何処で交付しているのか。

○後藤支所長 八幡総合支所です。

○石川正志委員 私は子育て支援委員をやっていて、年度末に会議があった際に市では「保

育園の待機児童が出そうだが調整しています」とのことだったが、それは現在クリアしたのか。

○後藤支所長 平田保育園で待機している人がいるとの話だった。「他の保育園にもあたって下さい」と話をして、何名かは他の保育園に移った人もいたが、どうしてもそこが良いという人が数名いたとのことで、ずっと継続して待機しているといった情報だった。

○池田議長 八幡に関しては、今後、八幡保育園と市条保育園との統合が控えていますが、現在は、そのようなことはないのですね。

○後藤支所長 はい。

○池田議長 次に平成29年度八幡総合支所地域づくり予算及び管内予算について、事務局より説明願います。

○後藤支所長

～資料3「平成29年度八幡総合支所地域づくり予算及び管内予算」について説明～

・今年度より新規に「大沢地区地域づくりモデル事業」を実施。どのような地域課題があるかアンケートを実施し、課題解決や地域の将来プランを策定する事業。

○池田議長 ただ今、予算について説明がありましたが、皆さん、何かご質問などございますか。

○遠田秀明委員 「大沢地区地域づくり推進モデル事業」の具体的な内容を説明願いたい。それと多面的機能支払事業（農地水）の各地区の予算を教えてください。

○後藤支所長 今までの補助事業だと国や県から「こういうのをやりませんか」といったメニューみたいなものが決まっていたが、このモデル事業については、地域の皆さん自らが、「問題を解決するにはどうしよう」とか「こういった問題があるので、こういうのがやりたい」と提案してもらって、地域のことを地域の人たちがみんなで話し合っ解決を目指す事業になる。どのような内容の結果になるのかは現在は未定ですが、先進地の事例を見ると、地域で直売所を出したりとか、地域の食材を使った食堂を出したりしている事例がある。

○池田議長 他に何かございますか。

○佐藤政義委員 大島田横代線の市道改修事業の内容をお聞きしたい。

○伊藤課長 場所はスーパー農道で傷んでいる路面の舗装工事で、地盤の改良工事は行わない。

- 池田議長 他の地域では、農道ということで、路盤を固めてから舗装をかけるケースがある。
- 池田議長 モデル事業については、是非行政でも協力していただき、良い地域を作っていただきたい。
- 小松久美子委員 病院事業運営費負担事業の中に、施設を整備する予算も入っているのか。
- 後藤支所長 これは、あくまでも八幡病院の運営費への市の繰出金です。
- 阿部喜至夫委員 高齢者が、自分が運転する自動車に安全装置を取り付けたいと思っても、「年金暮らしでは無理」となる。‘たわわ’のお客さんで、ガラス戸に突っ込んだ人もいて、行政のほうでも、家の改修費用の補助金みたいな形で、高齢者の安全運転のための自動車への支援を、今すぐは無理でも「地域の人からそういった意見がありました」ということで、伝えていただければと思う。
- 池田議長 そういった店舗の物損事故を防ぐために、行政では防護柵などの支援は考えていますか。「たわわ」などは、駐車場も近く危険に思われる。
- 阿部喜至夫委員 急に間違っただアクセルを踏んでも急発進しないような装置が後付けでも出来るようになっているので、そういったものが普及すればと思われる。
- 後藤支所長 八幡総合支所の入り口の駐車場でも、たまに車のアクセルをふかした大きな音がすることがあり、建物に突っ込まれないかと心配になる時がある。ただ、年金暮らしの高齢者に対しての車の購入の補助については、現在のところ制度がないため、引き続き関係課と検討はさせていただきたい。なお、車の業者さんに聞いたところ、自動ブレーキの車が普及していて、逆に板金業者さんの仕事が不足しているとのことだった。
- また、今年度から免許を返納した人に対し、市内の巡回バスが無料になる制度ができたので、運転が不安になった方については是非ご検討願えればと思います。
- 池田議長 車の免許返納について、特典的なものを、もう少し具体的に説明をお願いします。
- 後藤支所長 基本的に、市で運営している公共交通機関の料金が免許返納の証明書を持って申請すると無料になる。
- 池田議長 伊藤課長が見えましたので、先程の農地水の補助金の件で説明願います。
- 伊藤課長 多面的機能支払事業（以前の農地水事業）の各地区の予定金額が、一條地区：約2,900万円、観音寺地区：約3,000万円、大沢地区：約1,800万円、日向地区：約3,000万円程です。先程、年間で5%くらい減っているとお話があったが、人気事業ですが全

体のキャパ（容量）が決まっており、実施個所が多くなる分、金額が下がってしまう地区がある。

○池田議長 他に何かございますか。

○池田香委員 長年、都会で暮らしてきた高齢者の方で、「都会に比べて、自治会費が高い」との意見があり、今後、徐々に人口が減ると益々会費が上がるのが予測される。情報提供として、市に「生活困窮者自立支援制度」というのがあり、生活保護まで行かなくても生活に困っている人が社会福祉協議会に申請すると、現物の食糧を期限付きで無料で支給される制度がある。実際、生活が容易でない方がいたら、私を含めた民生委員に連絡してもらえば手続き等を教えることができる。

○池田議長 高齢者の一人暮らし等の自治会費については、自治会によっては減額・減免する制度もあり、自治会の総会等で、皆で相談して善処していただければと思います。

○小松幸雄委員 先程「免許証を返納した場合、巡回バスが無料になります」とのことだったが、これは一生涯、無料になるのか。免許返納制度については、もっと地域の人がわかるように啓蒙活動や周知をしてもらいたい。

○後藤支所長 一時的なものではなかった。市の広報には載っている。

○小松久美子委員 決まった数の回数券を1回でもらって終わりだったと記憶している。

○本多秀之委員 小松久美子委員が言われた通り、市の広報には「没するまで無料」という記述はなかったが、新しい制度が出来たということは一つの前進と思える。

※「市の運転免許自主返納者への支援制度」を確認した結果は下記の通り。

○バス・タクシー →5,000円相当額を1人1回交付

○るんるんバス・ぐるっとバス・平田ワンコインバス・デマンドタクシー
→100円割引（期限なし）

9 協議

○池田議長 次に八幡地域協議会年間予定（案）について、事務局より説明願います。

○事務局 ～資料4「八幡地域協議会年間予定（案）」を基に説明～

- ・平成29年度八幡地域協議会は4回の協議会を予定。
- ・1回目→4月（今日）、2回目→7月、3回目→10月、4回目→1月を予定。

- ・協議事項としては、地域課題に関する意見交換・ジオパーク等の進捗状況の報告・3回目の10月は、市長を交えてのワーキング（意見交換）の予定。
- ・4回目が、市長への活動報告に向けての意見の取りまとめを行い、2月下旬に市長へ活動報告を行う予定。

○池田議長 この件については、去年とほぼ同様であり、他に特別なことが加われば、回数等が変更になる可能性があるということです。

10 その他

○池田議長 次にその他に入りますが委員の皆さんから何かありませんか。

○佐藤政義委員 八幡の商工会が統合すると聞いたが、いつ頃か。

○後藤支所長 来年4月に平田にある「ふれあい商工会」の本部に八幡・松山・平田が一本化される。

○佐藤政義委員 現在、その建物は学童保育でも使用しているのか。

○後藤支所長 商工会の事務室の向かいの部屋を学童保育所として使用している。

○高橋知美委員 そうすると、あの建物は学童保育所として使えるということか。

○後藤支所長 学童協議会の運営委員会の会長からは既に使用要望書は出ている。

11 閉会

○池田議長 他にご意見はございませんか。ないようですので、これで第1回目の地域協議会を閉会させていただきます。閉会のあいさつを高橋副会長お願いします。

○高橋副会長 それではこれもちまして、第1回目の地域協議会を閉会いたします。委員の皆さんご苦勞様でした。

以上